



家畜改良センターの業務紹介

NL-BC

独立行政法人 家畜改良センター

▶家畜改良センターの使命

家畜改良センターは、
「我が国における畜産の発展と国民の豊かな食生活に貢献すること」
を使命とする独立行政法人です。

当センターのキャッチコピー

『日本の食卓 改良と技術で守ります』
～小さなタネから大きなウシまで～

▶家畜改良センターの主な業務について

1. 家畜・家禽の改良増殖と飼養管理の改善
2. 種畜の検査
3. 飼料作物種苗の増殖・供給と検査
4. 家畜改良に関する新技術の調査・研究
5. 遺伝的能力評価
6. 牛トレーサビリティ 等

▶ 家畜・家禽の改良増殖と飼養管理の改善

◆ 種畜・種きんの生産・供給

国内における遺伝的多様性の確保を図りつつ、多様な育種素材、遺伝的能力評価技術等を活用し、優良な種畜・種きんを生産・供給しています。

乳用牛：生涯生産性の向上、泌乳持続性の改善 等
肉用牛：遺伝的多様性の確保、1日当たり増体量の改善 等
豚：1日当たり増体量の改善、育成頭数の改善 等
鶏：産卵率の改善、増体量の改善 等

◆ 種畜検査

種畜の交配に伴う疾病のまん延防止及び優良な種畜の利用による家畜の改良増殖を推進するため、職員が種畜検査員となり種畜検査を実施しています。

◆ 飼養管理の改善

家畜の飼養管理の改善に寄与するため、省力化機器の活用にあ資するノウハウや、SDGsに配慮した畜産物生産・家畜衛生管理に関する知見を活用した飼養管理の改善の情報提供等に取り組んでいます。



生涯生産性の高い乳用種雄牛



遺伝的多様性に配慮した肉用種雄牛



1日当たり増体量に優れる種豚



産卵性や産肉性に優れる国産鶏種



搾乳ロボット等の省力化機器を用いた群管理技術



代謝プロファイルテストを用いた飼養管理技術



農場 HACCP や JGAP に基づく農場管理技術

▶ 飼料作物種苗の増殖・供給と検査

◆ 飼料作物種苗の生産・供給

日本の気候風土に適し、高収量性、病害抵抗性、耐倒伏性等の特徴を持つ飼料作物優良品種の普及を図るため、飼料作物種苗の増殖及び供給、飼料用稲種子の生産を行っています。



コンバインによる種子の収穫



飼料用稲種子の保管

◆ 飼料作物優良品種の普及支援

優良品種の育成・普及を支援するため、草地管理技術や飼料生産技術等に関する講習会の実施、地域への適応性等を検定する試験や実証展示ほ場の設置を行っています。



地域適応性の検定試験



飼料生産技術等に係る講習会

◆ 飼料作物の種苗検査（OECD品種証明制度）

種子の品質を保証する国際的な仕組み（OECD品種証明制度）に基づき検査・証明を行っており、飼料作物種子では国内唯一の実務機関です。長野支場は、高い技術水準が認められたISTA（国際種子検査協会）認定検査所となっています。



異種子検査



OECD証明ラベル

▶家畜改良に関する新技術の調査・研究

◆生産性に影響する遺伝子の解析と選抜への応用

ゲノム情報を活用した育種手法により家畜の改良を効率的に推進するため、各畜種について次の形質に關与するDNAマーカーや遺伝子の解析を行っています。

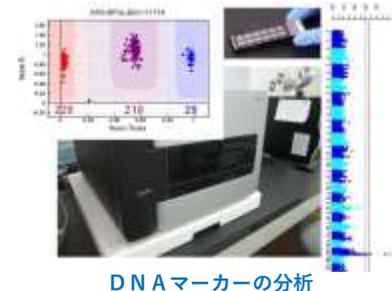
また、遺伝子育種の実用化に向けた家畜の選抜について検討を行っています。

◆食肉の食味に関する客観的評価手法の開発

消費者ニーズに対応した家畜改良やおいしい食肉生産を推進するため、食肉の官能評価と理化学分析の関連性について調査し、脂肪酸組成などの新たなおいしさの指標に関する検討を行っています。また、和牛肉の輸出拡大に貢献するための調査研究にも取り組んでいます。

◆改良増殖への繁殖技術の応用

生産現場で利用可能な豚胚の移植技術等の改善、豚の繁殖管理に役立つスマート畜産の実証、牛の育種改良のための効率的な胚生産技術等の開発に取り組んでいます。



ターゲットとする形質
・乳用牛の疾病抵抗性等
・豚の産肉性、繁殖性

・肉用牛の飼料利用率、食味
・鶏の卵質、産肉性、外貌



食肉の官能評価



食肉の理化学分析

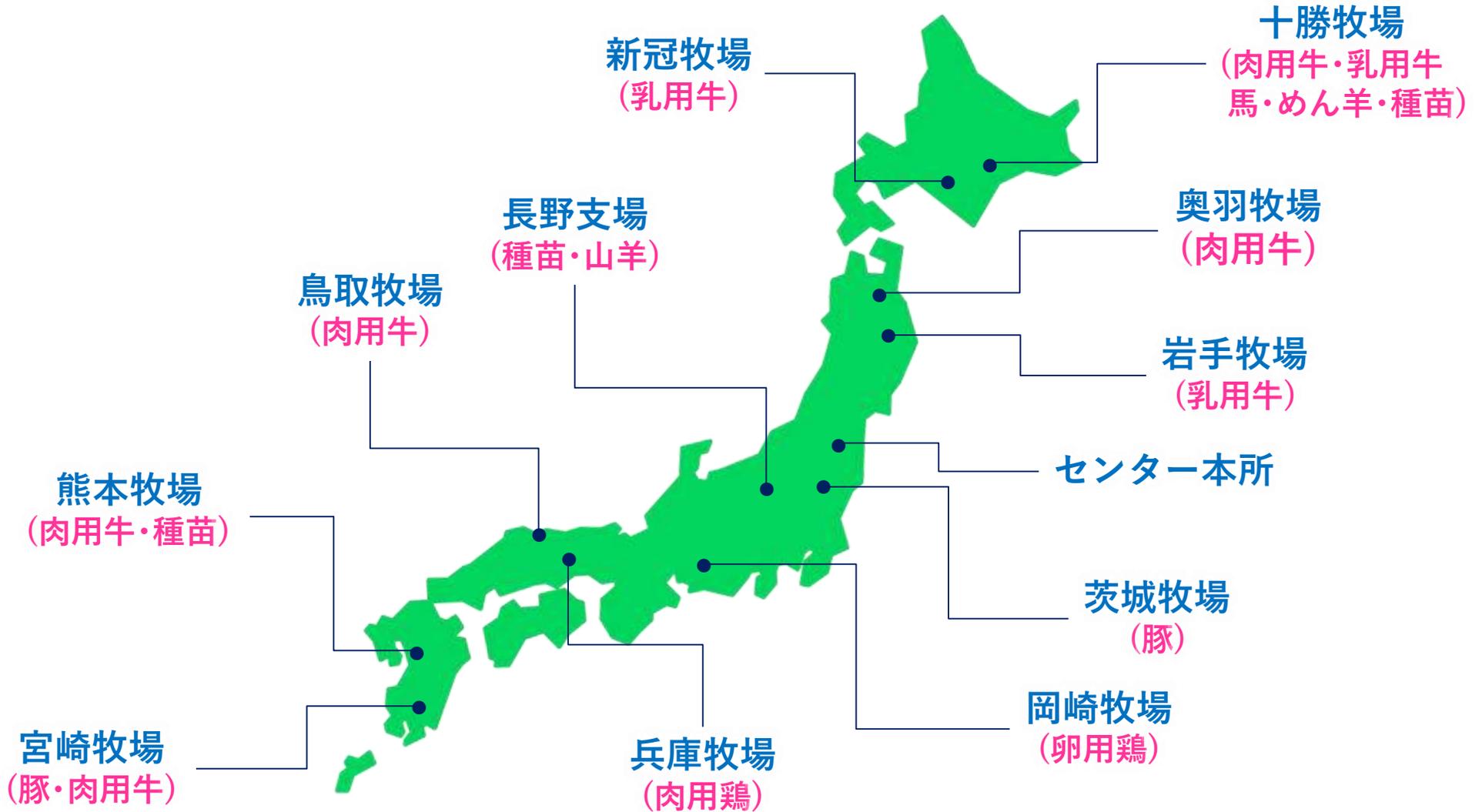


豚舎で行える非外科胚移植技術



経腔採卵と体外受精を応用した効率的な牛の胚生産技術

▶本所及び牧場の概要について



▶家畜改良センターの風景

本所（福島）芝原放牧地の風景



岩手牧場牧草地の風景



▶一般職（事務系）の業務について①

事務系職員の職務内容は**庶務・人事・経理・財産管理**に分類されます。

本所では総務部各課や他部各課の事務的役割を担うポスト、
牧場・支場においては総務課に配置されます。

◆庶務

起案文書や接受文書等の管理、職員の勤務管理、共済組合関連業務、ネットワークの管理、労働災害防止のための啓発、健康診断 等

◆人事

職員の採用、人事異動関連業務、職員の俸給決定や諸手当認定、職員の研修関連業務、職員の人事評価の取りまとめ 等

◆経理

予算関連業務、決算関連業務、経費支出、職員旅費の支給、職員給与の支給 等

◆財産管理

物品・家畜の購入や役務に関する契約、経費支払い関連業務、廃用品等の売り払い、固定資産の管理、各場を含めた施設工事の契約 等

▶ 一般職（事務系）の業務について②

総務部 管財課（財産管理）



私の所属している管財課では、「物品の購入や役務の調達に関する契約」や「財産の管理や建築工事に関する契約」を取り扱う業務を行っています。

その中で私は、財産の管理や施設の保守管理等を主に行っています。

就業時間：8時30分～17時15分（昼休み1時間）

8:30

12:00

13:00

17:15



外での作業

昼休み

事務仕事

- ・業者との打ち合わせ
- ・業者の車両消毒対応
- ・牛舎・豚舎で使用する塩素の補充

- ・固定資産台帳の更新
- ・契約書及び届出の作成
- ・公用車の管理

▶ 業務風景



ネットワーク管理業務



施設工事の打ち合わせ

▶ 一般職（技術系）の業務について①

技術系職員の業務は幅広く、様々な分野に挑戦することができます。
日本の畜産業の発展に貢献できるというスケールの大きさも魅力です。

◆ 家畜の改良増殖・飼養管理の改善

多様な育種素材を活用した優良な種畜・種きんの生産・供給、飼養管理の改善に係る調査・研究及び情報提供等

◆ 飼料作物種苗の増殖・供給と検査

飼料作物種苗の生産・供給、飼料作物の優良品種の普及支援、飼料作物種子の種子検定・ほ場検定 等

◆ 家畜改良に関する新技術の調査・研究

生産性に影響する遺伝子の解析と選抜への応用、食肉の食味に関する客観的な評価手法の開発、改良増殖への繁殖技術の応用 等

◆ 遺伝的能力評価

全国統一基準による遺伝的能力の評価、評価分析システムの開発及び運用、評価プログラムによる評価値作成、評価値を取りまとめた公表資料の作成 等

◆ 牛トレーサビリティ

牛個体識別台帳の作成・記録、出生や死亡等の牛に関する届出の受理、牛個体識別台帳のシステム管理・運用、牛個体識別台帳に記録された情報の提供 等

▶ 一般職（技術系）の業務について②

本所 管理課（飼料生産）



私は福島県にある本所の管理課で、**肉牛の粗飼料生産の業務**に携わっています。

主な業務として、粗飼料生産計画管理、作業機械等の修理物品の調達、飼料作物に関わる調査研究等を行っています。

就業時間：8時30分～17時15分（昼休み1時間）

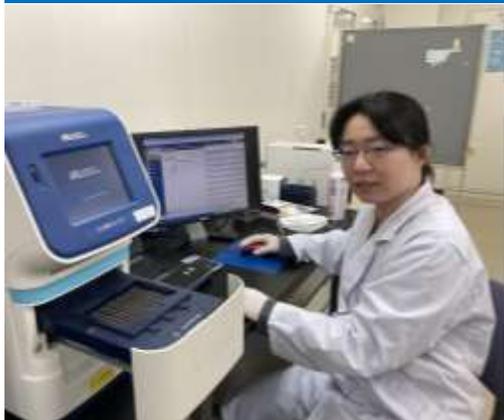
8:30 9:30 11:00 12:00 13:00 14:30 17:15



- ・朝礼、業割
- ・打ち合わせ
- ・文書作成
- ・梱包前水分確認
- ・認用予乾牧草サンプリング
- ・牧草サンプルの細断
- ・水分測定
- ・梱包時水分
- ・分分析用ウィンドロウサンプル採取
- ・栄養成分
- ・サンプル裁断
- ・データ打ち込み
- ・成分分析用試料調整

▶ 一般職（技術系）の業務について③

本所 改良技術課（豚）



私は福島県にある本所の改良技術課で、豚の繁殖性や産肉性などの経済形質と関連する遺伝子の解析業務に携わっています。

業務は、細胞からのDNA抽出や多型探索、多型判定、繁殖／産肉データとの関連解析など、多岐にわたります。

就業時間：8時30分～17時15分（昼休み1時間）



▶一般職（技術系）の業務について④

茨城牧場 業務課（豚）



私は、豚の改良増殖を行っている茨城牧場に配属され、そこで**分娩・肥育班**に所属しています。

主な仕事は、**授乳母豚、授乳期仔豚の飼養管理**です。わずかな変化を見落とすと、すぐに体調の悪化に繋がるので、豚の観察が非常に重要となる業務です。

就業時間：8時30分～17時15分（昼休み1時間）



▶ 業務風景



受精卵(肉用牛)の検卵



乳用牛の採精

▶ 一般職（獣医系）の業務について①

獣医系職員の業務は主に防疫及び検査、診療、繁殖となります。

家畜改良センターでは、全国各地で様々な家畜を飼養しているため、多くの種類の家畜に携わることができます。

◆ 防疫・検査

衛生管理区域の設定等の衛生対策の企画、ワクチネーションプログラムの企画、蛍光抗体法によるウイルス等の検査、ヨーネ病等のPCR検査、糞便・乳汁・スワブ等の細菌検査 等

◆ 診療

呼吸器疾患・消化器疾患・繁殖障害・周産期疾病等の診断及び治療等

◆ 繁殖

生産効率の向上のためのOPU（生体卵子吸引）－IVP（体外生産）技術の活用、超音波診断による妊娠鑑定時の雌雄判別、ガラス化胚を用いた外科的移植（豚） 等

▶一般職（獣医系）の業務について②

熊本牧場 業務課（肉牛）



熊本牧場では、褐毛和種（あか牛）の繁殖、肥育（産肉能力の検定）及び候補種雄牛の作出を行っています。

私は牛の診療や衛生管理を主としていますが、飼養管理や繁殖業務、精液採取・検査も行っています。繁殖業務では、人工授精だけでなく、採卵と体由来の卵巣から体内及び体外受精卵の作成・移植も実施しています。

就業時間：8時30分～17時15分（昼休み1時間）

8:30 11:00 12:00 13:00 15:00 17:15



牛舎での作業 事務仕事 昼休み 牛舎での作業 事務作業

- ・ 打ち合わせ
- ・ 診療、採卵、人工授精、ワクチン接種等

- ・ 診療カルテの記入等

- ・ 家畜の観察
- ・ 去勢、受精卵凍結、検査等

- ・ 会議資料作成
- ・ 報告書作成

▶ 業務風景



乳牛の診療



糞便中のサルモネラの培養検査

▶技術専門職員の業務について①

技術専門職員の職務内容は、主に家畜の飼養管理、
飼料作物種苗の生産等となります。

資格や研修の制度が整っているため、
様々な経験や知識を取得することができます。

◆肉牛

肉牛の飼養管理、健康状態などの観察・記録、給餌、分娩介助、飼料生産・機械操縦、繁殖、削蹄、子牛の哺育・育成 等

◆乳牛

乳牛の飼養管理、健康状態などの観察・記録、給餌、搾乳作業、分娩介助、飼料生産・機械操縦、繁殖、削蹄、子牛の哺育・育成 等

◆豚

豚の飼養管理、体重測定や体尺測定によるデータ収集、給餌、健康状態などの観察・記録、異常のある豚の早期治療 等

◆鶏

鶏の飼養管理、集卵作業、産卵や卵質などのデータ収集、給餌、健康状態などの観察・記録 等

▶技術専門職員の業務について②

岡崎牧場 業務課 (鶏)



私の現在の仕事は、**卵用鶏の育種改良**のために、日々**鶏の飼養管理・集卵作業**等を行いながら、**産卵や卵質**などの**データ収集**を行うことです。

また、毎日、**鶏の健康状態**などを観察することも大切な仕事です。

就業時間：8時30分～17時15分（昼休み1時間）

8:30

12:00

13:00

17:15



鶏舎での作業

- ・ 雛の観察、データ収集
- ・ 集卵作業

昼休み

鶏舎での作業

- ・ 人工授精
- ・ 鶏の観察、データ収集
- ・ 鶏舎の掃除、消毒

▶ 業務風景



肉用牛の削蹄



鶏の産卵記録の作成

▶ 職場見学について

家畜改良センターでは、随時**職場見学**を受け付けております。

ご興味のある方は、**総務部人事課**
または**お近くの牧場**にご連絡下さい！

担当：家畜改良センター総務部人事課

TEL：0248-25-2759

FAX：0248-25-3990

E-mail：nlbc-saiyo@nlbc.go.jp



▶家畜改良センターHP

URL : <http://www.nlbc.go.jp/>

独立行政法人
NLBC 家畜改良センター

サイトマップ English 文字サイズ 検索

家畜改良の推進、優良な畜産や飼料作物産出の生産・供給等を通じて、我が国の畜産の発展と国民の豊かな食生活に貢献することを使命としています。

家畜改良センターについて 各牧場・支場 業務内容 職員採用情報 広報 お問合せ

優良な家畜の改良・増殖を目指して

新規採用案内 牛の個体識別情報検索サービス 中央畜産研修施設 毎日牛乳を7〜1斤 牛乳消費拡大

お知らせ

- 2022年3月22日 **採用情報** 鳥取牧場総務課の任期付職員募集要項を掲載しました。
- 2022年3月18日 **重要** 牛個体識別台帳システムの不具合について
- 2022年3月18日 **プレスリリース** 乳用牛評価報告2022-2月（雌牛上位100位）を公表しました【本所】（PDF:367KB）
- 2022年3月16日 **プレスリリース** 代謝プロファイルテストを活用した肉用牛繁殖雌牛の飼養管理技術講習会を開催します【鳥取】（PDF:114KB）
- 2022年3月15日 **トピックス** 黒毛和種・褐毛和種（高知系）と畜データ追加による提供可能データ件数を更新しました（令和4年3月現在）
- 2022年3月14日 **採用情報** 本所（個体識別部企画管理課）任期付職員募集要項を掲載しました。